

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** **西野さち子** 京都府議会議員 **西野さち子** です！

発行：2024年6月30日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目381 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117



自民党政治を終わらせよう 19行動

2015年9月19日に多くの国民の声を無視して「戦争法」が強行採決されました。安保法制（戦争法）に反対をしようと、総がかり実行委員会が立ち上げられ、立場の違いを超えて毎年19日には、市役所前で集会が行われ、パレードが行われています。自民党公明党政権は、日本が攻められてもいないのに、「恐れがある」と勝手に判断すれば、相手国の領域にまで攻撃する「敵基地攻撃能力」を可能にしています。国民の暮らしを犠牲にしても軍事力の強化が必要と、軍事費を5年間で43兆円に拡大しました。しかし、これ以外にも新規契約する装備品購入費で28年度以降にローンで支払う額が16兆5000億円あるため、総額は60兆円近くになります。敵基地攻撃能力（反撃能力）に必要なミサイルや戦闘機などの高額兵器を一気に増やすことが影響しています。戦争をする国づくり

税金は戦争準備ではなく国民のくらしにこそ



ではなく、国民の暮らしや学費の値下げにこそ税金は使うべきです。議会中ではありましたが、合間を縫って、参加しました。

議員日誌

5月議会が終了 公共サービス、職員削減、大型公共事業再開を強行

5月30日から開始されていた5月市会が、6月20日に終了しました。新市長の第2次編成予算を審議することが中心の議会でもあります。「新しい公共」を掲げて、民間事業者や市民も参加をして京都市を創っていくと市長は言います。そして、職員を減らすことについては3月市会で「同じペースで公共サービスや職員削減を続けるつもりはない」と答弁した市長ですが、今議会提案の中には国民健康保険の事業を集約して、50人もの職員削減を提案しています。言っていることとやっていることが違います。さらに、前市長の「行財政改革計画」で休止していた大型公共工事の再開も盛り込まれています。また、北陸新幹線の京都地下延伸計画については地下水への懸念を言いながら、反対の立場には断ち切れません。地方負担が毎年1000億円と言われていきますから、「この負担だけで京都市財政が吹っ飛ぶ。」と指摘しましたが、京都市は「負担は京都市だけではない」と無責任な答弁です。一方で公約だった子どもの医療費拡大や保育料の第2子無料化や給食費無償化の予算はありません。提案された28議案のうち、予算案を含む6議案に反対し、残り議案には賛成しました。終了本会議では、「ミャンマー国軍による暴力行為の即時停止と民主的政治体制の早期回復の働き掛けを強く求める意見書」に共産党と維新国会派と無所属議員3人が賛成し、自民公明議員が退席し、可決される場面がありました。



「市営住宅の家賃減免制度をもとに」の請願不採択に反対討論



西野 さち子 議員
(共産党 伏見区)

まちづくり委員会でともに議論もせず、短時間で不採択になった「市営住宅の家賃減免制度の見直し」の請願は、住民の住居の保障にも関わります。しかし、共産党以外の全議員が不採択にしました。西野さち子は不採択に反対の討論をしました。京都市も急な見直しは暮らしに影響が大きいとして、5年間かけて減免制度を見直します。負担が最も大きい世帯は、5年で5倍にもなります。5倍になれば生活保護の申請をすればいいと言われた方もおられます。市民に4億5千万円の負担を押し付けることとなります。物価高騰が続いているときに、「行財政改革計画」を撤回し、家賃の減免制度を元に戻すように提案をしました。

困ったときは…
日本共産党の生活相談所へ

毎週月・水・金曜日

午前10時から午後5時

まずはお電話ください!!

☎621-6717